

防災・被災地支援をテーマに アジア各国からの参加フェローが共に学び、課題解決を目指す 人材育成事業「HANDs! プロジェクト」 3・11 に神戸で 防災について学べる催しを NPO 法人プラス・アーツと共催

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）アジアセンターは、防災・被災地支援をテーマに、アジア各国の参加フェローが共に学び、課題解決を目指す人材育成事業「HANDs! プロジェクト」を実施しています。

今年度の取り組みとして、東日本大震災の発生から6年となる3月11日（土）、市民に防災について学んでもらう催し「イザ！カエルキャラバン！×HANDs! TOGETHER in 神戸」を、神戸市で実施します。



前年度の様子（インドネシアフェローと子ども達の交流）



2016年度の会場の様子

NPO 法人プラス・アーツとの共催で神戸サンボーホールで実施されるイベントでは、事業参加者（HANDs! フェロー）が共同で考案した新しい防災教育プログラムのデモンストレーションを、プラス・アーツ開発の「イザ！カエルキャラバン」と共に実施します。この防災教育プログラムは、フィリピン、インドネシア、タイ、そして日本をツアーしながら防災や環境に関する取り組みを学んだアジア8カ国（日本、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、ネパール、インド）の25名のフェローがプロジェクト期間中に開発するものです。

イベントの主な対象となる子ども達や家族連れの参加者が、防災に関する知識をゲーム感覚で身に付けられるだけではなく、国際色豊かなHANDs!フェローと直接交流することもできます。

■「イザ！カエルキャラバン！× HANDs! TOGETHER in 神戸」

【日時】 2017年3月11日（土）13：00～15：30（予定）
【会場】 神戸サンボーホール1階（神戸市中央区浜辺通5-1-32）ポートライナー「貿易センター駅」より徒歩1分
【主催】 国際交流基金アジアセンター、NPO 法人プラス・アーツ (<http://www.plus-arts.net/>)
【参加費】 無料、申込み不要

<HANDs! プロジェクトとは>

国際交流基金アジアセンターが2014年より主催する、8カ国の若者がクリエイティブかつ持続可能な方法を用いた防災教育について学びあう人材育成プロジェクト。選抜されたフェローが日本を含む4ヶ国を訪問し、各国の優れた取り組みを学んだ後、自国においてそれぞれ新しい防災関連のプロジェクト（アクションプラン）を企画、実施予定。
※プロジェクト詳細は、別紙およびプロジェクト公式サイト (<http://www.handproject.asia/>) をご覧ください。

●主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 アジアセンター文化事業第2チーム（担当：工藤、稲田）
Tel: 03-5369-6025 / E-mail: Maki_Kudo@jpf.go.jp